

戰史資料

第六十二師團輸重隊 (沖繩本島)

調製官 第廿四師團輸重隊長 澤兼少佐 杉本秀三 我

一編成裝備關係

八自己部隊及關係部隊編成人員及裝備彈藥 (沖繩本島戰中肉體面)

自己部隊編成

本部 一

駐島中隊 一

自動車中隊 二 (内一缺)

人員

本部 二〇

駐島中隊 一四〇

自動車中隊 一八四

計 三四四

兵器彈藥

主機筒銃 一 彈藥一銃付 一〇〇〇〇發

輕機筒銃 二四 一三〇〇發

空擲彈筒 四 一五〇發

迫撃砲 六 三〇〇發

小銃 三〇〇 二〇〇〇發

自動車 四

修理自動車 一

輸重車輛 五

別三現地防居者三〇口 較馬一四口 山原船 三一

配属之受入者部隊

第六十二師團輸重隊

同部隊ノ編成

長嶽中尉以下 二七

輕機銃 二 小銃 一〇

關係部隊ノ編成

第一中隊 司令部

步兵第一三三旅團(司令部一 獨立歩兵大隊四)

步兵第一西旅團(司令部一 獨立歩兵大隊四)

第一中隊 工兵隊

第一中隊 通信隊

第一中隊 揚子隊

第一中隊 陸軍病院

第一中隊 陸軍工廠

第一中隊 兵站司令部

第一中隊 經理班

第一中隊 防務班

第一中隊 衛生班

第一中隊 隊

第一中隊 第二七五隊

第一中隊 第二七五隊

第一中隊 第二七五隊

第一中隊 第一四七隊

第一中隊 第二二七隊

第一中隊 第二二七隊

第一中隊 第二二七隊

第一中隊 第二二七隊

第一中隊 第二二七隊

3. 人員 兵器等ノ増減關係

昭和十九年十月十日 初年号約七八

昭和二十年三月 初年号約七〇

昭和二十年六月臨時編合トシテ特種以下約二三〇名ヲ編入ス  
レタルニ詳細ハ記憶シテラス

#### 4. 現地住民使役ノ關係

昭和十九年八月沖繩本島上陸以來陣地構築ノ為地  
方人約四百名乃至五百名ヲ使役シテアリタルニ進人員  
數則カナラズ

昭和二十年一月以降現地防衛員募集者三〇〇名輕馬二四  
〇山原船三一〇ヲ使役シ專ラ輸送業務ヲ行ハシメ  
現地人ノ概不熱心ニ努力セシメ島住民ノ性狀ニ依ル  
顯ルニ緩慢性ニ業務言役ニ能事的ナラザルモノ  
アリ

#### 二 部隊履歴ノ概要

昭和二十年六月山西省太原ニ於テ編成爾來山西省  
東部地區ノ警備及討伐ニ從事

昭和十九年三月山西省太原ニ於テ同年四月ヨリ六月ニ至ル間

河南征戰ニ從事中國長官官衙ノ要ヲ

昭和十九年七月河南省襄城ニ赴

同年八月開封ニ於テ編成移駐

同年八月十六日上海ニ於テ乘船

同年八月二十日 沖繩縣那覇港ニ上陸

至同年八月三十日 那覇市ニ位置シテ業務遂行

至同年九月十日 那覇市ニ位置シテ業務遂行

至同年十月十日 那覇市ニ位置シテ業務遂行

至同年十月三十日 那覇市ニ位置シテ業務遂行



前哨部可用之位置之同地附近陣地構築

及前業務之進行

自昭和二十年三月二十三日  
至四月十日 依前圖之位置に陣業任務、補給

特、四月二十六日以降、全刀ヲ以テ戰鬥加入

自昭和二十年四月二十三日  
至五月十日 首尾周圍に戰鬥參加

自昭和二十年四月二十七日  
至五月十日 前線附近に戰鬥參加

自昭和二十年六月一日  
至六月十日 高尾部附近に戰鬥參加

加 高尾部山城附近に戰鬥參加

自昭和二十年六月五日  
至六月十日 同部高尾部附近に戰鬥參加

自昭和二十年六月十日  
至六月二十日 指揮關係、其之變更、概要

三、指揮關係、其之變更、概要  
沖繩作戰問題に於て昭和二十四五月九日第三十四師團長ノ

指揮下ニ入り四月二十三日其指揮ヲ脱ス

四、作戰準備、關係  
一、作戰計畫、概要、

二、防禦方針

敵之陣前ニ誘致シ事ノ内攻ヲ以テ戰車ノ接近ヲ圖リ

火力ニ依リ歩兵ノ殲滅ヲ期ス

三、防禦の配備

別紙要圖ノ如シ

五、陣地ノ概況  
昭和十九年十二月二十二日

六、起工時期  
地方人夫約 四千八(連)

七、所要人員  
概約三〇〇名 爆薬若干

八、完成時期  
昭和二十年三月一日 自動軍用洞窟全部ヲ完成

九、地上戰鬥陣地ノ開闢時期ニ於テ野戰的工事

東京 國本ノ卜納

約半部ヲ完了シ掩蓋甚他下ノ  
重要陣地ニ対スル交通壕ノ若干ヲ構築  
スル

人員用掩壕ノ工事中

強度

自歩軍用洞窟内ノ空壕砲撃等ニ対シテハ  
絶対安全

戦中陣地ノ各個故害壕ノ程度

人員用掩壕ノ一部完成セルニテ大部ノ工事中

敵攻撃ニ依リ破壊補修状況

自歩軍用洞窟内ノ砲撃被害ニ関シテハ  
等々損心ノ被害ヲ拂ヒタルトシ  
構築良好ナリト依ル

戦中陣地ニ三月二十四日より引越シ  
敵艦砲射撃ヲ  
為シタル毎ノ構築ヲ要シ四月未敵ノ陣前ニ近

迫セシ頃ハ砲撃聲ヲ全ク細地ト化シ終始

陣地ノ補修構築ニ要スルノ状況ニテリタリ

自歩軍洞窟内ノ道路ニ三月二十四日以降毎ノ

補修ヲ要シ四月二日より空壕ノ為メカ補

修ニ大ナル要ヲ要スルニ至リ

3. 攻撃準備ノ完了ニ要スル命令ノ内容(概要)

師團長ニ要スル命令ノ概要

揚子江ハ四月二十日午前九時迄ニ前田、自歩軍用洞窟内ヲ  
完成スル

以上ノ命令ナリシニ島嶼沿河ノ特質ニ鑑ミ部隊ノ自歩軍

洞窟ヲ復原トナシ其ノ用途ニ堅固ナル陣地ヲ構築

スル計画ヲ立案スルニ前田附近ノ要地ニカカ陣地ノ構築

ヲ開始スルニ関シテ完成スルニ至ラズ







昭和九年十月十日 南西諸島空襲誌 (世三〇〇)

ハニ〇甲一丹 (世二〇〇)

ハニ〇年一月末 (世四〇〇)

ハニ丁年二月一 (世三〇〇)

4. 敵機ノ損害 不知

5. 沈下ノ時着陸ノ者ニ對スル虚道

6. 敵ノ浮島ヲ殺

6. 給養 衛生

給養

作戦長期ニ亘ルニシテ豫想シ集積糧秣ノ現存量ト  
對比シテ最低限度ノ給飼ヲ行ヒ現地物資ノ取得  
ニ努力シタル計然ニ成果ヲ收メ得可クモ今ノ一級ノ  
給養ハ良好ト云ヒ難シ殊ニ戦中自給ノ際ニ際シテ是等  
轉々ト其ノ所地ヲ棄テ操シタル間作工等中終期ニ至  
テハ幸ラシク現地ノ耕作ノ需ヲ掘取リ而シテ命ヲ保  
ツ程度ナリキ然レモ将兵ノ志氣ハ旺盛ニシテ最後  
迄戦中ノ志氣ヲ保持シ勇敢ニ行動セリ

衛生  
部隊附衛生官僅カニ一人ナルニ及ビ業務尙周知兵  
將等ヲ以テ全島ニ亘リ分散シ下リタル為ニ衛生業務  
ノ実施極メ艱シ保健ニ大ニ苦心ヲ拂ヒ地方醫師  
利用等ニ依リテ幸ラシク将兵ノ疾病ニ事缺ラズ



